



# 行事予定

日	曜	行事名
1	木	衣替え
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	観劇・さるカニ合戦
7	水	
8	木	保育参観(領域活動)
9	金	
10	土	天候状況にて赤城山登
11	日	
12	月	
13	火	花菖蒲観賞
14	水	
15	木	身体測定
16	金	避難訓練
17	土	田植えを予定
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	お誕生会
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	領域活動
28	水	
29	木	散歩(浜川運動公園)
30	金	金魚すくい
31		

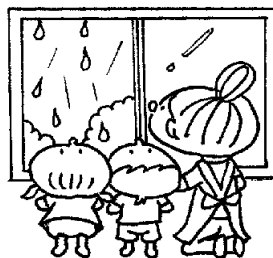
年齢
0歳児
1歳児
2歳児
3歳児
4歳児
5歳児
混合組

紫陽花の花が咲き始め、くつ箱にも可愛い長ぐつが並ぶ季節になりました。

雨上がりの戸外は子どもたちにはまるで園庭を独り占めしたかのうに生き生きと遊んでいます。くぼみを見つけジャブジャブしたり、ろだんごを作ったり、葉の影にいたカタツムリを見つけたりと泥んやりながら遊びきって、汚れ物と笑顔で話してお土産をたくさん持ち帰りますので遊びの天才ぶりを一緒に楽しんでいただきたいと思います。

この8日(木)は保育参観です。また、すでにご案内したように、個別参観もあります子どもたちの園生活をそれぞれに違った角度からご覧いただけるのではと思います。

先日の親子遠足では、お忙しいところ保護者の皆様のご協力をいただき、無事に終了する事ができました。ありがとうございました。不思議な力を持った春の親子遠足はジャブジャブ池での水遊びもあつ



## 異

撮おす  
月曜～  
年齢も  
や活重  
が提唯  
発達と

1920（大正9）年に、時間を大切に  
する日として定められた「時の記念日」。  
時計の必要性を考えたり、手作りの時計  
を作ったりして、みんなで親しみたい  
と思います。家の中や地域にはどんな  
時計があるのか、いっしょに探してみ  
ましょう。

## 写真撮影のお知らせ

航空写真を撮ることになり、  
クラスごとの集合写真は8日の参  
観日、9:30～もも組から撮りま  
す

お子さんのことで気になる事や  
保育園のことで疑問に思われる  
事等、どんな事

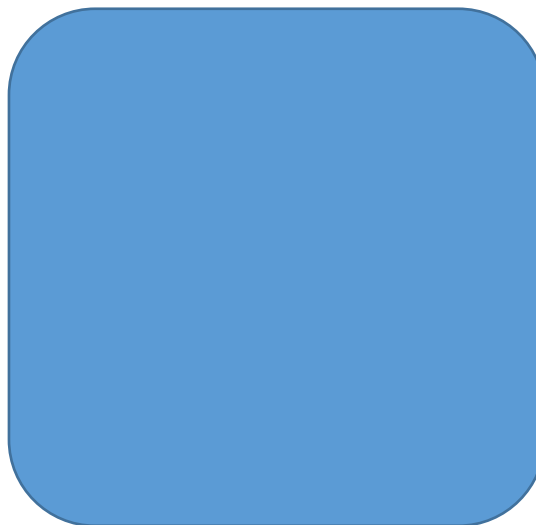
本人(事)を  
ちが～  
もち  
す。あ





## 6月の経験と活動

内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆裸足の感触を楽しむ。</li> <li>☆梅雨ならではの自然に触れようとする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆裸足になり、土や泥の感触を味わう。</li> <li>☆友達との関わりを持ちながら遊びを楽しむ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆裸足に、色々な感触を楽しもうとする。</li> <li>☆保育者と一緒に身の周りの事をしようとする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆裸足の感触を楽しむ。</li> <li>☆梅雨期の自然に触れようとする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆梅雨の時期の遊びを友達と一緒に楽しむ。</li> <li>☆生活や遊びの中で、基本的なルールやマナーに気づこうとする</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆自ら裸足になり、泥や水、砂の感触を楽しむ。</li> <li>☆お友達といっぱい関わる中で自分の気持ちや考えを相手に伝えてみようとする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆梅雨時の自然事象や動植物に関心を持とうとする。</li> <li>☆裸足になり、土や泥、水の感触を楽しむ。</li> </ul>



## 年齢保育と年齢保育

保育園では、月・水・金曜の午前中は年齢保育、火・木曜と  
 ~金曜の午後は3・4・5歳の子どもと一緒に保育室で過ごし、  
 ち違えば育ちも様々な子どもたちが、仲間と関わりながら遊び  
 動を行っています。すなわち、これが4月のおたよりでビゴツキー  
 した「最近接領域」という渦中の展開が日々行われているのです。  
 教育がどちらが先かといえば教育が先であり、その教育は  
 生活の中で自然と学んでいくという考えが、この年齢保育の中心とな

がやってみたいと思つ課題(子どもの日常生活の中の様々な含む領域からの働きかけが大切となります。知らぬ間に子どもたちができるようになったと言われることがありますね。それは、子どもが生活している社会や文化の体験から学び取っていることなので、その保育者のできることは子どもたちが興味・関心を持って取り

